

あくせす news

第 286 号
2026 年 4 月 14 日
発行者
呉市医師会病院
地域医療福祉連携室
あくせす



乙女椿

麗春の候、日ごとに暖かな日差しが心地よく、春の訪れを感じる季節となりました。桜の便りも過ぎ、若葉の緑が目まぶしい今日この頃です。さて、先生方にはいつもあくせすをご利用いただき、ありがとうございます。この度、内科に 2 名の新任医師が着任いたしましたのでご紹介いたします。引き続き一層のご利用・ご紹介のほど、よろしくお願いいたします。

新任医師紹介




消化器内科

副院長

飯星 知博

いひほし ともひろ

- 専門分野 消化器内科（胆膵／一般）
- 資格取得 日本医師会認定産業医
- 趣味 亀の飼育 
- 外来診察日 月曜日
- 内視鏡 水・木・金曜日

4 月 1 日より内科で勤務させて頂くこととなりました飯星知博と申します。呉には研修医として呉共済病院で 2 年間お世話になって以来、久しぶりに戻ってきたため感無量の思いです。

医師会病院赴任前の 12 年間は県立安芸津病院で消化器内科を主体として地域医療に従事していました。これからは医師会会員の先生方にご指導頂きながら貢献できればと考えていますのでよろしくお願い致します。

最近小型の亀を室内の水槽で、中型の亀をベランダのトロ箱で飼うようになりましたが、亀は長寿であるため自分の健康に気をつけながらきちんと世話していければと頑張っています。

会員の皆様にはご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。


呼吸器内科

内科主任医長

川本 数真

かわもと かずま



- 専門分野 呼吸器内科
- 資格取得 内科専門医
- 趣味 プロレス鑑賞 
- 外来診察日 月・水曜日

4 月 1 日に呉市医師会病院に赴任致しました内科の川本数真と申します。平成 28 年に近畿大学を卒業し、故郷である広島に戻ってまいりました。呼吸器内科を専門にしております。

咳など呼吸器症状で、困られている患者様がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。呉の地域医療に貢献できるよう一生懸命努めてまいります。会員の皆様にはご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

～放射線科からのお知らせ～

MRI装置を更新しました

この度、MRI 検査装置をバージョンアップしました。休止期間中、先生方にはご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございました。4月2日（木）より本稼働しております。今回の更新により、検査時間の短縮および画質の向上が進み、質の高い検査を提供できるようになりました。これまで以上のご利用・ご紹介のほどよろしくお願い致します。

NEW



【お申込み先】放射線科（あくせす） ☎ (0823) 25-7708

『家族性大腸腺腫症患者に対する

内視鏡治療』



内科主任医長 石橋 一樹

本講演では家族性大腸腺腫 (FAP) に対する内視鏡治療の現状について報告させていただきました。大腸腫瘍に対する内視鏡治療としては、内視鏡的粘膜下層剥離術や内視鏡的粘膜切除術に加え、Hot Snare Polypectomy (HSP)、Cold Snare Polypectomy (CSP)、Hot Biopsy (HB)、Cold Forceps Polypectomy (CFP) など、病変の大きさや性状に応じた手技が選択されています。特に近年は、低侵襲で安全性の高い CSP の有用性が注目されています。

FAP は APC 遺伝子異常により発症し、未治療ではほぼ全例が大腸癌に進展するため、従来は予防的大腸全摘術が推奨されてきましたが、術後の QOL 低下やデスマイド発症のリスクがあり予防的大腸全摘術を拒否する患者も存在します。

非密生型 FAP に対しては、内視鏡的にポリープを可能な限り切除する Intensive Downstaging Polypectomy (IDP) が外科手術回避の手段として期待されています。一般的な大腸腫瘍の内視鏡治療において HSP や HB に対する CSP の安全性と有用性が報告されていますが IDP における CSP の有用性に関する報告は限られています。広島大学病院での検討では、CSP は従来の通電手技と比較して切除ポリープ数が多く、偶発症も少なく、IDP においても安全かつ有用な手技でした。FAP 診療において、IDP は重要な選択肢となり得ると考えられます。

石橋一樹医師の
外来診察日は **水曜日**

内視鏡は **月・火・金曜日**です

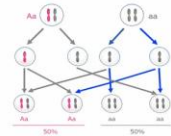


家族性大腸腺腫症

Familial Adenomatous Polyposis, FAP



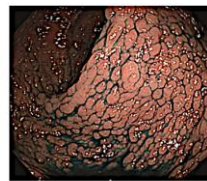
- 原因** APC遺伝子の生体細胞系列病的バリエーション
- 遺伝形式** 常染色体顕性 (優性) 遺伝
- 疫学** 1万~2万人に1人
- 大腸癌浸透率** 100% (60歳までにほぼ全例大腸癌発症)



家族性大腸腺腫症

Familial Adenomatous Polyposis, FAP

ポリープ密度による分類

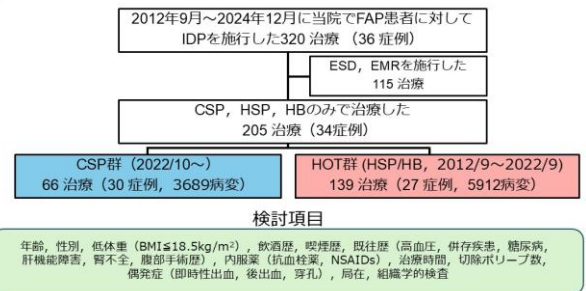


密生型
ポリープ数 > 1000



非密生型
ポリープ数 100-1000

対象と方法



治療成績の比較

項目	CSP n=66	HOT n=139	P値
1検査あたりの治療時間 (分, 平均±標準偏差)	49.2±22.9	44.1±21.7	0.07
1検査あたりの切除ポリープ数 (個, 平均±標準偏差)	83.2±65.3	42.5±47.8	<0.01
偶発症			
術中出血	0 (0)	10 (7.2)	0.03
後出血	0 (0)	2 (1.4)	0.33
穿孔	0 (0)	2 (1.4)*	0.33
計	0 (0)	14 (10.1)	0.01

術中出血・・・切除直後に内視鏡的止血処置を必要とした出血 * 全例外科治療 (%)
後出血・・・ポリープ切除後 30 日以内に発生し、止血処置や医療対応を要した出血

★3月1日~3月31日★

※届出日数 (一般病床)

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数※	紹介外来患者数	医療相談患者数
105.3人	70.2%	23.9日	92人	145件



呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 **あくせす**

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通) 院長 先本 室長 中間 MSW 森下 MSW 竹場 MSW 野瀬
FAX (0823) 32-7507 事務 井上 事務 岩畔 事務 村田 事務 石丸